



安全安心な社会を創る建設技術を紹介します！

第13回 茨城会イブニングセミナー

主催：(公社)土木学会 関東支部 茨城会

土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。業務との関係を考慮しまして、仕事帰りに勉強できるよう、夕方 18:00 開会のイブニングセミナー形式を取っています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたい、参加費は無料とし（会場準備の関係上事前登録制）、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す2名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加登録を頂ければと存じます。

○開催日時：平成 27 年 10 月 29 日（木） 18:00～20:00 まで
受付：17:30～

○場所：茨城県 三の丸庁舎 2階大講座室（水戸市三の丸 1-5-38）

○プログラム：

総合司会 原田 隆郎先生（茨城大学工学部都市システム工学科 准教授）

18:00～18:40

演題1：選奨土木遺産について

講演者：澤島 守夫 氏（一般財団法人茨城県建設技術公社 常務理事）

概要：明治時代から近代的技術や素材で造られ、現存する土木構造物等は本県の近代化の歩みを今に伝える貴重な遺産です。土木学会では、これら遺産の文化的価値のアピールや保全のため選奨土木遺産としての認定を進めており、本県でも既に8件の認定を受けております。これら認定施設を中心に本県の土木遺産の魅力や地域資源としての活用について紹介します。

18:40～20:00

演題2：水戸城下の構造と変化

講演者：小野寺 淳 氏（茨城大学 教育学部 教授）

概要：水戸城は那珂川と桜川によって侵食された舌状台地の先端に築かれ、三方が水辺に囲まれた天然の要害であった。この地形が水戸城下の構造の特色を生み出す。江戸時代後期の城下絵図と現地調査から水戸城下の城郭、堀、武家地、町人地などを国土基本図に比定した復原図（「水戸の城下町マップ」）をもとに、水戸城下の構造と変化について紹介したい。

20:00 閉会

○参加費：無料（事前登録制、連絡先は下記）

○特典：参加者には土木学会 CPD 単位が発行されます。

○申込 期限：平成 27 年 10 月 23 日（金）

○連絡先：〒310-0004 水戸市青柳町 4195

（一財）茨城県建設技術管理センター内 担当：加藤または安附

（TEL:029-227-5634） E:mail : katou@ibakengi.or.jp

<第13回茨城会イブニングセミナー参加 申込書>

平成27年9月 日

第13回茨城会イブニングセミナーに参加申し込み致します。

会社名・担当課	役職	氏名	CPD 希望の有無

申込先：土木学会関東支部 茨城会 事務局

(一財)茨城県建設技術管理センター (TEL:029-227-5634)

総務部企画研修課 加藤または安附宛て

FAX : 029-227-8558 または

Eメール：加藤宛て katou@ibakengi.or.jp でお申し込み下さい。

申込期限：平成27年10月23日(金)